

事務事業名	コード 19500	環境衛生事務費 (環境基本計画)(地球温暖化対策実行計画)	予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 4	所管課 環境課	担当班 環境政策班
基本施策	23	良質な環境の保全	根拠法令	旭市環境基本条例、地球温暖化の推進に関する法律					事業種別 <input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
施策の展開	43	自然環境の保全	戦略事業	208 環境基本計画の見直し及び地球温暖化対策実行計画の策定					
施策の展開			戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない			
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	I 自然豊かな郷土を次世代に引き継ぐため次期「環境基本計画」を策定して環境施策に取り組んでいく。 II 平成25年度策定「地球温暖化対策実行計画」に基づき平成24年度の温室効果ガス排出量を基準として平成26～30年度までに3.8%削減するための取り組みを行う。旭市総合戦略においては平成26年度の温室効果ガス排出量を基準として平成27～31年度までに3.8%削減を目標としている。			
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		
I 旭市環境基本計画は、旭市環境基本条例第9条の規定により策定する。II 法により地方公共団体は、温室効果ガスの排出抑制のための施策を行うこととされている。	平成29年度環境基本計画を策定し、目標とする環境像の実現に向けた施策を展開していく。地球温暖化対策推進実行計画で旭中央病院は対象となる組織・施設から除外となった。	身近な生活環境や廃棄物分別への苦情関心が多い。		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円						
1.委託料(基本計画)	5,778	旭市環境基本計画策定業務委託				
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円						
1.国庫支出金	0					
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	0					

事業費 財源	1.委託料(基本計画)	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	
			0	0	0	5,778	0	
	事業費計(A)		千円	0	0	0	5,778	0
	1.国庫支出金	千円						
	2.都道府県支出金	千円						
	3.地方債	千円						
4.その他	千円							
5.一般財源	千円		0	0	0	5,778	0	

前年度増減理由	環境基本計画を策定したため。《2017(平成29)年度～2026(平成38)年度》
---------	-------------------------------------------

従事職員数	常時	3人	最大	5人	×	11日	=	延べ	55人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	-----

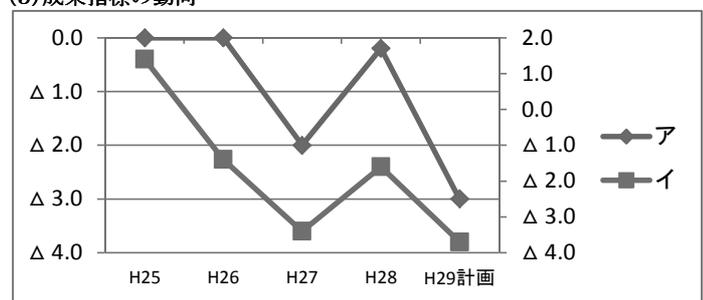
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) きれいな旭をつくる会議3回、環境審議会3回、合計6回 平成28年度における温室効果ガス排出量調査(各課へ依頼)及び結果の公表(HP・広報等)	ア 環境審議会・きれいな旭会議開催回数	回	3	3	3	6	5
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 電気使用量 ※中央病院除く	kw/h	12,104,336	11,686,652	11,537,557	11,630,715	11,506,853
	対象意図 市の施設 平成26年度を基準に、平成27～31年度までに温室効果ガス排出量を3.8%削減する。(旭市総合戦略)	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象意図 市の施設 平成24年度を基準に、平成26～30年度までに温室効果ガス排出量を3.8%削減する。(地球温暖化対策実行計画)	ア (平成26年度基準) 温室効果ガス排出量比 ※中央病院除く	%	-	0.0	△ 2.0	△ 0.2	△ 3.0
		イ (平成24年度基準) 温室効果ガス排出量比 ※中央病院除く	%	1.4	△ 1.4	△ 3.4	△ 1.6	△ 3.7

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	評価結果	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通	ある程度ある		①	②	③
	小さい	ほとんどない		④⑤	⑥ (4)	⑦⑧
			⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	地球温暖化対策については、夏の猛暑などのため電気使用量が昨年度より多く使用されたため温室効果ガス排出量は昨年度を上回ってしまったが基準年度の値はわずかに下回っている。
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ: 数値減=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 数値減=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	平成27年度は夏の一時で気温が低く冬は概ね暖冬であったが、平成28年度においては夏の時期の平均気温が高く、冬には低温になる時期があった。このため、平成27年度と比較して冷暖房器具を使用する頻度が高くなったために二酸化炭素排出量が多くなったと思われる。
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期: 平成29年7月、12月 内容: 適正な温度管理を促すことなどを市役所内の掲示板に掲載することで、温室効果ガスの排出抑制を図る。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ()